

適用範囲		モデル名		D20A-8E0	D20P-8E0	D20PL-8E0	D20PLL-8E0		
		仕様		2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト		
		適用号機		90001	90001	70001	70001		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値					
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドルリング ローアイドルリング トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	min ⁻¹ min ⁻¹ min ⁻¹ (℃) (℃)	2645±50 930±25 — (69~72) (45~55)	2645±50 930±25 — (69~72) (45~55)	2645±50 930±25 — (69~72) (45~55)	2645±50 930±25 — (69~72) (45~55)		
		エンジン油圧 (油温) (回転速度)	KPa kg/cm ² (℃) (min ⁻¹)	294~392 3~4 (80~110) (2580)	294~392 3~4 (80~110) (2580)	294~392 3~4 (80~110) (2580)	294~392 3~4 (80~110) (2580)		
		弁すき間 吸気弁すき間 排気弁すき間 [測定条件]	mm mm []	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]		
		圧縮圧力 (冷却水温) (回転速度)	KPa kg/cm ² (℃) (min ⁻¹)	3432±98 35±1 (69~72) (250)	3432±98 35±1 (69~72) (250)	3432±98 35±1 (69~72) (250)	3432±98 35±1 (69~72) (250)		
		燃料装置 噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa kg/cm ²	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール		
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件]	mm N [kg]	10~15 [98] [10]	10~15 [98] [10]	10~15 [98] [10]	10~15 [98] [10]	[]	
	動力伝達装置	主クラッチペダル	ペダル取り付け高さ ペダルの遊びのストローク ペダルの全ストローク	cm cm cm	17.8 2.0~2.5 17.6~ 18.617.8	17.8 2.0~2.5 17.6~ 18.617.8	17.8 2.0~2.5 17.6~ 18.617.8	17.8 2.0~2.5 17.6~ 18.617.8	
			主クラッチ型	ブースタ油圧	KPa kg/cm ²	1765~2059 18~21	1765~2059 18~21	1765~2059 18~21	1765~2059 18~21
		ダイレクトシフト型		KPa kg/cm ²	—	—	—	—	
			ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	981 10	981 10	981 10	981 10	
			KPa kg/cm ²	—	—	—	—		
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (min ⁻¹)						
プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kgm	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35			
ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	— 20.0~27.4	— 20.0~27.4	— 20.0~27.4	— 20.0~27.4		
	ステアリングクラッチ油圧 (油温)	KPa kg/cm ² (℃)	1961~2255 20~23 (40~60)	1961~2255 20~23 (40~60)	1961~2255 20~23 (40~60)	1961~2255 20~23 (40~60)			

[illegible]

モデル名

D20A-8EO

D20P-8EO

D20PL-8EO

D20PLL-8EO

D21A-8EO

①

■ 点検

▲ 警告

2人で作業し、運転者は作業者の合図に従って車両を動かしてください。とくに測定中は絶対に動かさないでください。履帯の張りの点検は車体上げて行うので、点検時、誤って車体を落下させると非常に危険です。

ゴムシューの継目部（M印）を車軸間中心上側にして、ブレードで車体を上げ、スプロケットから3番目のトラックローラ路面と履帯のローラ転動面とのスキマが15～20mmあれば標準です。

25mm以上になっていたら、張りの調整が必要です。

点検姿勢

②

■ 点検

平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を右図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロサとの間が中央で20～30mmあれば標準の張りです。

標準の張りでないときは、つぎのように調整してください。

③

オイル封入履帯

シングル履帯

湿地シュー

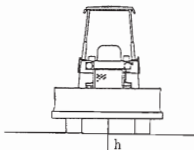
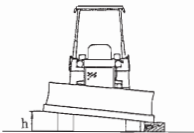
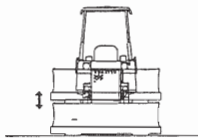
③

乾式履帯

シングル履帯

No.	項目	判定基準	
1	リンクピッチ	基本寸法	許容限度
		135.25	138.2
13	レギュラボルト 締付トルク	初期: 68.6 ± 9.8 Nm (7 ± 1 kgm). 増締め角: 90 ± 10°	
14	マスタボルト 締付トルク	初期: 68.6 ± 9.8 Nm (7 ± 1 kgm). 増締め角: 180 ± 10°	

No.	項目	判定基準	
1	リンクピッチ	基本寸法	許容限度
		135.25	—
15	シューボルト 締付トルク	初期: 68.6 ± 9.8 Nm (7 ± 1 kgm). 増締め角: 90 ± 10°	

D21P-8E0		D21PL-8E0							
項 目	測 定 条 件	単位	基 準 値 (新 車)		故障判定 基 準 値				
			D20 -7	D21 -7	D20 -7	D21 -7			
④	ブ レ ー ド  ★ブレード地上から 300mm	mm	100		100				
	ブレードチルト (チルト時本体降下量)  ★ブレード側端をブロックに乗せてチルトで車体をいっばいに上げる。 ・上記の姿勢からブレードの降下量hを測定する。 ・水平・平坦地 ・レバー中立 ・エンジン停止 ・作動油温：40～60℃ ・セッティング直後に測定開始 ・15分間経過後の降下量を測定する。		50		50				
⑤	リフト ブ レ ー ド (PAT 車) ・接 地 ⇕ 上 昇 順 	上 げ	1.8		1.8				
		秒							